

平成26年大磯町議会

12月定例会一般質問（12月19日・22日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1</p> <p>10番 竹内恵美子議員 (60分) 9:05～10:05</p>	<p>1. 教職員の勤務実態について問う</p> <p>(1) 本町の小中学校の教員の勤務時間の現状は。 (2) 年次休暇の取得の現状は。 (3) 実態をどう捉えているのか。 (4) 教職員の多忙を解決するために、教育委員会は今後どのようなことを考えていくのか。</p> <p>2. 介護保険料が3年ごとの介護保険料改定のたびに上昇しているが、介護保険料の抑制策について問う</p> <p>(1) 第6期高齢者福祉計画（介護保険事業計画）において、介護保険料の抑制策を示した計画になる予定か。 (2) 第6期高齢者福祉計画（介護保険事業計画）では、特に重点的に取り組むことを目指した内容が示されているのか。 (3) 計画策定にあたり、第6期高齢者福祉計画（介護保険事業計画）は、いつも同じような人ではなく、今まで策定時には取り入れなかった意見がたくさん取り入れられるような委員構成や工夫はしたのか。 (4) これから高齢化社会が進む今後の大磯町にとって、地域包括支援センターの役割が重要になってくると思うが、今までのままで地域包括支援センターを運営していく予定なのか。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p>
<p>2</p> <p>15番 清水 弘子議員 (60分) 10:25～11:25</p>	<p>1. 中崎町長の公約について問う</p> <p>町民は町長へ継続する町政を望んだ。健康で元気、子育て支援が行き届いた笑顔あふれる町づくりとある。2期目に特に力を入れていく政策はどのようなものか。</p> <p>1期目の課題でもあったことであるが、町民の方から「在宅介護で親も高齢、娘の私も高齢になり、通院させるのがとても大変である。在宅医療を充実してほしい。恒道会の問題では、受入れ体制の不安や認知症の対応にも不安である。」との声が上がっている。町民にどのようにこたえていくのか。</p> <p>2. サン・ライフ葬儀場の駐車場対策は</p> <p>サン・ライフの葬儀場が建設され、多くの方から失望の声を聞いている。</p> <p>それと同時に、葬儀に来る方が庁舎の駐車場を使って、庁舎に用事があり来庁する方に支障が出るのではないかと心配されている。業務であれば、当然駐車場を別に確保すべきだが、町はどのように対応するのか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

<p>3</p> <p>8番 高橋富美子議員 (60分) 13:00～14:00</p>	<p>1. 中崎町長の選挙公約の1つである「多世代が共同する町 大磯」について問う</p> <p>「多世代が共同する町 大磯」の中で「高齢者や子育て世代の誰もが得するような町をつくります。町民の暮らしをサポートする仕組みづくりを産官学で連携し取組んでいきます。」とあるが、具体的にどのようなことなのか。</p> <p>2. 大磯中学校3号館の改修工事は平成27年度の総合計画の実施計画に計上されるのか</p> <p>平成26年度9月議会の一般質問「大磯中学校3号館改修工事に伴うエレベーター設置の進捗状況は」に対し、教育長は「1日も早くバリアフリー化を進め、エレベーター設置に向けて努力をする。」と答えているが。</p> <p>3. 平成25年度決算における議会が行った事務事業評価は平成27年度予算に生かされるのか</p> <p>事務事業評価のうち、福祉文教常任委員会所管の支援教育推進事業は、町の評価は「妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある」のAで、議会の評価は「一部見直しのうえ継続する」であった。小学校現場での支援員体制は人数的に混乱を極めている。予算編成に向けどのように考えているか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長 教育長</p>
<p>4</p> <p>5番 坂田よう子議員 (45分) 14:20～15:05</p>	<p>1. 「日本一住みたい町 大磯」2期目の町政への姿勢を問う</p> <p>信頼と責任ある町政の実現、継続は力、創志・継志、ゆるぎない「信念」で、2期目の町政運営に臨むその姿勢を伺う。</p> <p>また、健康を第一とする町、子育てで選ばれる町、この2つの政策、そして、観光の核づくり事業により、いかにして「日本一住みたい町 大磯」の実現を果たすか。</p> <p>さらには、少子高齢化や人口減少を克服する地域再生・定住促進を目指し、多世代が共同する町をいかにして実現するか。町政の方針を伺う。</p>	<p>町 長</p>

<p>5 3番 渡辺 順子議員 (90分) 15:25～16:55</p>	<p>1. 平塚市の食品放射能測定所の広域利用はなぜ遅れているのか 平塚市で行っている食品の放射能測定所の広域利用は10月ごろ開始できると聞いていたが、未だに実施されていない。なぜ遅れているのか。</p> <p>2. 中学校給食実施に懇話会や保護者の意見は反映されるか 中学校給食については、逗子市は5年間かけて検討した結果10月から選択制で、藤沢市も試行期間を設け選択制で11月からデリバリー方式でスタートした。 一方、横浜市は全生徒に同じ昼食を提供する「給食」という手法は選択せず、家庭弁当を基本としながら事前予約で配達弁当と決めるなど、自治体の取り組みはさまざまである。 本町での中学校給食のデリバリー方式に対する保護者アンケートの結果では、家庭弁当との選択制を希望する保護者も多かった。懇話会や保護者の意見は反映されるのか。</p> <p>3. 町は「大磯恒道会」にどうかかわっていくのか 11月20日、神奈川県労働委員会は、大磯恒道会が職員2名を役職解任などの処分としたのは不当労働行為にあたるとして、2名の原職復帰を求める命令を出した。 すでに、大磯町議会は去る9月定例会で神奈川県に対して、社会福祉法人「大磯恒道会」の運営がより適切で安全になされるよう積極的な指導を求める意見書を提出した。 職員の職場環境を守り、入所者が安心してサービスを受けられるために町はどのようにかかわっていくのか。</p> <p>4. 高齢者の健康確保に在宅歯科診療を取り入れてはどうか 大磯町第6期高齢者福祉計画素案では、高齢者介護予防としてさまざまな取り組みを計画しているが、高齢者の口腔ケアの取り組みについてはあまり触れられていない。 口腔ケアは健康確保の基本であり、特に歯周病の予防は心臓病、肺炎、糖尿病などに成果があると聞いている。岩手県奥州市では、5年前からケアマネージャーと歯科医師、歯科医師会が協働で寝たきり高齢者に対する在宅歯科診療に取り組み、質の高い歯科医療提供体制の充実を図っていると聞いている。町も積極的に取り入れてはどうか。</p> <p>5. ごみ処理広域化実施計画素案の中から質問する (1) 大磯町の一人1日あたりのごみ排出量は967gであるが、平塚市は905g、二宮町は829gである。大磯町が多い原因は何か。また、削減目標はH21年比で8%である。その対策は。 (2) 現在、容器包装プラスチックとペットボトルの収集をレジ袋で行っているが、循環型社会を目指す3Rの推進と逆行している。東大和市が実施している3品共通の指定収集袋の考え方を導入してはどうか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
---	---	--

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>6 12番 関威國議員 (70分) 9:00~10:10</p>	<p>1. 台風18号で不動川が氾濫寸前になったが、洪水対策は 10月の台風18号で不動川は氾濫寸前になり、本郷橋の下流では護岸が陥没、上流ではビニールハウスへの流水被害が発生し、住民は国府小学校体育館に28人避難した。 以下の点について質問する。 (1) 不動川流域の被害状況は。 (2) 被害と氾濫寸前になった原因は。 (3) どのような対策を実施するのか。 (4) 県の管轄だが、県への要望は。</p> <p>2. 国府橋の架け替え工事は、いつ着工するのか 平成26年3月に一般質問した国府橋についての回答は、「用地取得交渉は基本的に合意しており、契約後に速やかに着工する」とあったが、測量は始まらず一向に進展していない。住民はもう待てない。 以下の点について質問する。 (1) 国府橋架け替え事業の目的は。 (2) 計画されて何年になるのか。 (3) 遅れている理由は。 (4) 平成27年度に着工できるのか。</p> <p>3. 市民農園事業について 平成26年度の行政評価が10月4日におこなわれ、タウンニュースにも掲載された。市民農園事業については、評価Cで抜本的な見直しが必要だが、事業は継続した方が良いとの評価となった。 以下の点について質問する。 (1) 市民農園事業の目的は。 (2) 現在、町内に何カ所あり、貸付料は1区画で年間いくらか。 (3) 現在、空き地はどのくらいあるのか。 (4) 評価Cとなったのはどこに原因があったのか。 (5) 市民農園事業は今後縮小し、できれば民間業者に委託したいとのことだが、その理由は。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

<p>7</p> <p>7番 吉川 重雄議員 (90分) 10:30~12:00</p>	<p>1. 恒道会の問題について、行政の不作為対応で町民の命は守られるかを問う</p> <p>社会福祉法人「大磯恒道会」のさまざまな問題が起こってから、行政の法人への対応は生ぬるい感がぬぐえないものを私は感じている。町民の「いのちを守る」という行政の責務がしっかり機能しているとは到底思えない。</p> <p>なぜならば、現在、恒道会に入所されている利用者家族の人達の不安と心配は今まで以上に高まっているように思えるからである。また、これからこの法人を利用する町民の人達に少なからず影響が出てくるのではないかと心配をしている。</p> <p>これまでのこの問題に対する神奈川県と大磯町の消極的な行政対応の責任は大きいと言える。行政の不作為の対応により、町民・県民である地域の人々に不安と心配が起きている。</p> <p>今まで、神奈川県は「この問題は恒道会内部の問題である」と言い続けている。大磯町も同じような考えで、県に対して追従している姿しか見えてこない。</p> <p>また、社会福祉法人に対する指導権限が大きい神奈川県の対応に対し、真相究明を行う立場にある地元県会議員は口を堅く閉ざし続けており、その姿勢に憤りを感じざるを得ない。</p> <p>このような状況の中で、入所されている方はもちろん、その家族の方々は不安と心配を持ち続けざるを得ないのが現実である。</p> <p>この状況について、町はどのような認識を持っているのかを問う。</p> <p>(1) 町は恒道会で起こっている問題の事実究明をすると言ったが、事実究明はどのような方法で行い、どのような事実が明白になったのか。法人の25年度決算書は提出されたか。</p> <p>(2) 9月議会で、議会から県に意見書を提出したが、町は「県がどのような対応を行っているか、行おうとしているか」を把握しているのか。</p> <p>また、大磯恒道会に対して、サービスのより適正な運営が確保されるよう町長の指導を求める要望書を議会から町に提出したが、具体的な行動は行われたのか。また、その改善は見られたのか。</p> <p>(3) 神奈川県の指導監督権限が大きい中で、一人しかいない地元県会議員に対し、町は問題の事実究明のためにアプローチをしたのか。</p> <p>(4) いま現在、恒道会の運営について、利用されている方、その家族の不安と心配は、以前と比べて改善されているのか。</p> <p>(5) 現在、この施設を利用している方、これから利用しようとしている町民への影響は出ているのか、出ていないのかを問う。</p>	<p>町 長</p>
--	--	------------

<p>10 11番 三澤 龍夫議員 (40分) 16:10~16:50</p>	<p>1. まちづくりについて 9月議会において「まちづくり」のために「まちのこし」という考えで質問した。 今回もその考えを基本に、次の項目について伺う。 (1) 観光。 (2) 若者の定住対策と空家対策、エンジェル税制の活用。 (3) 民俗行事の伝承。</p>	<p>町 長 教育長</p>
---	---	--------------------

10名 22問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。